

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
卵巣癌オラパリブ療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1-21	① <b>オラパリブ</b> 600mg 分2		
コメント			

プロトコールに関する解説

本治療は再発卵巣癌に対する白金製剤の治療効果が認められた際に、引き続き維持療法としてオラパリブを内服する治療です。BRCA1/2という遺伝子に変異を認める患者さんにより効果があることが分かっていますが、同遺伝子に変異がない場合でも効果があることが報告されています。内服薬ですので外来での通院加療が可能です。代表的な副作用は骨髄抑制(貧血、好中球減少、血小板減少)、吐気、倦怠感などがあります。副作用の程度は患者さんにより異なりますが、一時的に休薬することがあります。